

鹿児島県漁海況週報

平成30年3月1日発行(2月22日～2月28日)
第2744報【旧暦:1月7日～1月13日/月齢6.2～12.2/潮汐:小潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、2月27日現在、屋久島御崎の南10.6マイル付近にある。

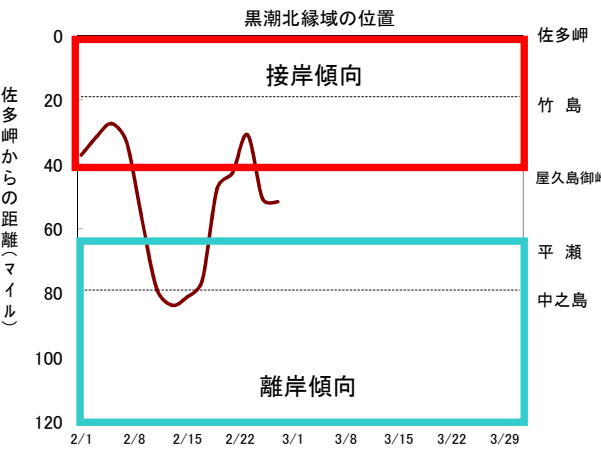
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、2月27日現在、68マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、鹿児島、屋久島御崎、与路島で0.1～1.0℃降温し、与論で変わらず、その他の海域で0.2～2.4℃昇温した。

平年比較では、佐多岬、屋久島御崎で“やや低め”，中之島、甕海峡で“やや高め”，その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	22.0	+0.6	+0.0	平年並
鹿児島	15.9	-0.4	-0.2	平年並
佐多岬	16.8	+0.2	-0.9	やや低め
竹島	19.6	+0.9	+0.4	平年並
屋久島御崎	19.2	-1.0	-0.9	やや低め
中之島	22.0	+0.9	+0.5	やや高め
笠利崎	20.8	+0.4	+0.0	平年並
与路島	20.9	-0.1	+0.2	平年並
与論	20.9	+0.0	-0.2	平年並
甕海峡	17.7	+2.4	+0.9	やや高め

鹿児島一那覇定期客船観測は2/27-28
串木野一甕定期客船観測は2/28

【漁況】

○定置網

甕島海域では、1日のみキハダ(12～20kg)が170kg、週計でマシ(100～500g)が124kgの入網。西薩南部海域では、フリ(4～10kg)が多い日で300尾、アオリカ(300g)が100～150kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、マシ豆が800kg/日、ゴマサハ(100g)が400kg/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で44統がフリ、サハ類中、カクチイワシ主体に34トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカクチイワシ、フリ、サワラ主体に12.3トンの入網。

○キビナゴ刺網

甕島海域では、1～3箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計で20箱/隻の漁。

○ブリ飼付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、4～7kgサイズを40尾/統・日の漁。大隅半島南部海域では、1～1.5kgサイズを180～370kg/統・日、3～6kgサイズを120～370kg/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

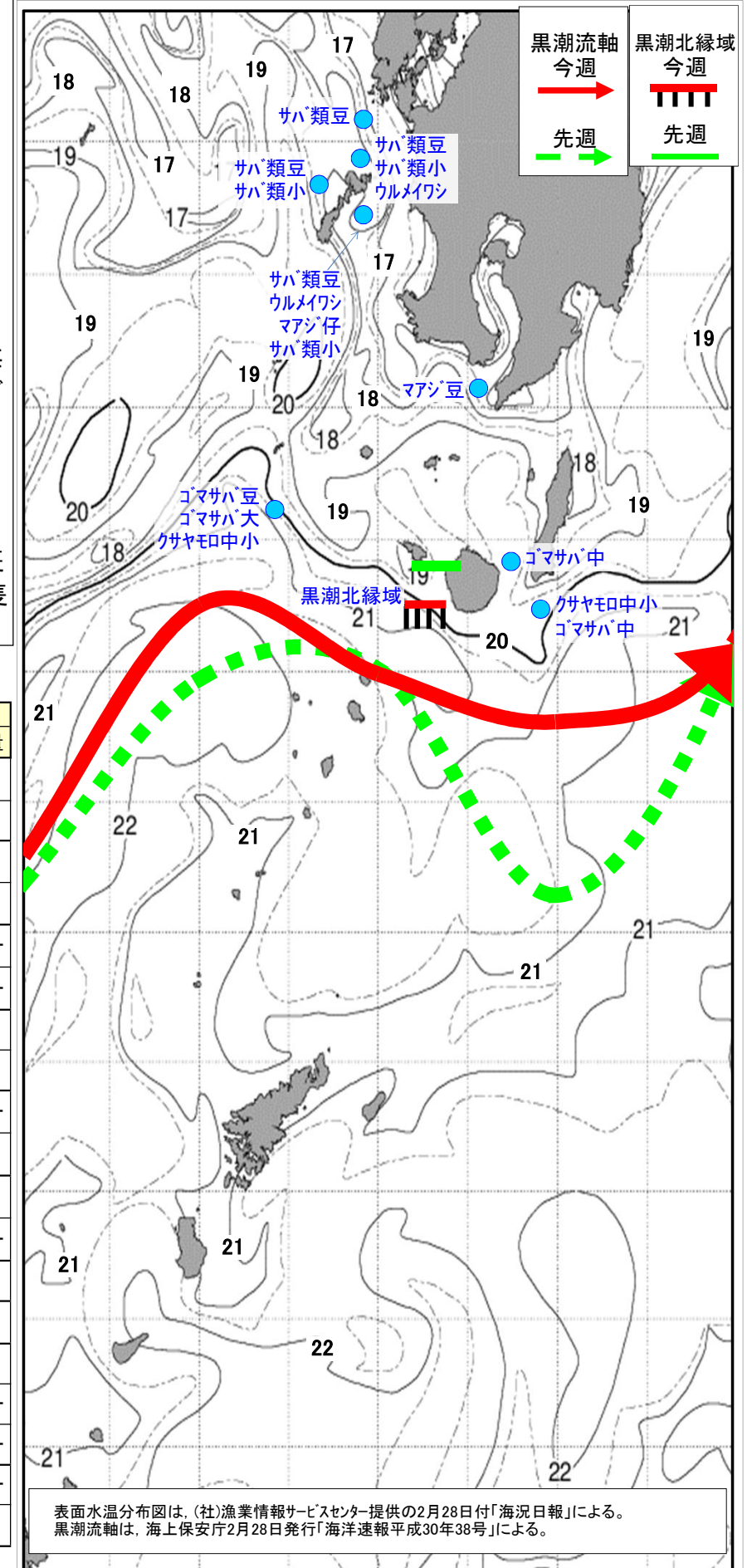
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	前週		前年同期		
							隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	9	164	甕東 牛深沖	サハ類豆29 ウルメイワシ13 マシ仔13	18.2	11	252	8	342
		中	13	180	繩瀬 甕東 甕西	サハ類豆61 ウルメイワシ13 サハ類小12	13.8	10	102	24	409
	枕崎	大	2	35	西新曾根	ゴマサハ豆42 ゴマサハ大33 クサヤモロ中小17	17.4	1	8	3	150
		中	18	254	立目崎沖 島間沖 種子島南	マシ豆27 クサヤモロ中小23 ゴマサハ中18	14.1	23	484	14	490
	内之浦	中	0	—			—	1	4	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	11	199			18.1	12	260	11	492	
	中	31	434			14.0	34	590	38	898	
東海旋網	阿久根		0	—		—	0	—	0	—	
	枕崎					—	3	704	2	356	
棒受網	阿久根		34	31	阿久根沖 長島	カクチイワシ100	0.9	21	11	28	37
	内之浦		0	—			—	0	—	0	—
定置網	内之浦		44	34		フリ31 サハ類中19 カクチイワシ18	0.8	43	15	43	40
刺網	阿久根		34	1	甕 牛深沖 長島	キビナゴ100	0.0	14	1	49	4
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—			—	0	—	1	292
		小	0	—			—	0	—	0	—
	海旋	1	840			カツオ中64 カツオ小28 キハダ5	839.6	0	—	0	—
	山川	中	1	5			カツオ小54 キハダ46	5.1	1	4	0
	海旋	0	—				—	1	743	1	131

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、大トビを3000～5000尾/統・日の漁。屋久島海域では、大トビを20～120箱/統・日の漁。

○その他

甕島海域では、一本釣りでメジナ(600g)を50kg/隻・日の漁。曳網でスマ(1kg)を35～42kg/隻・日の漁。西薩海域では、ごち網でマダイ(1～3kg)を20～30kg/隻・日の漁。刺網でヒラメ(1kg)を5～40kg/隻・日の漁。底曳網でツキヒガイ(70～80g)を150～200kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマダイ(1～5kg)を20～250kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でハモ(0.6～2kg)を30kg/隻・日、マダイ(0.8～3kg)を20kg/隻・日の漁。種子島海域では、一本釣りでカンパチ(1kg)を50kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りでハマダイ(1～6kg)を20～60kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの2～3日操業でソデイカ(胴体のみ10～13kg)を20～200kg/隻の漁。一本釣りの2日操業でチウオ(1kg)を100kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の2月28日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁2月28日発行「海洋速報平成30年38号」による。